

平成29年度経営発達支援計画の事業報告

平成30年5月31日

塩尻商工会議所

1. 塩尻商工会議所経営発達支援計画の目標

製造業においては、小規模事業者の能力を発揮し、事業者が地域で安定した雇用の創出を行い、生き生きと安心して働く事が出来るよう支援を行う。

サービス業においては、仕事、自然、豊かな生活を実感できる「住みやすい塩尻」を重点として活力のある事業所を育てる。また、地域資源としての「木曽漆器」の世界発信を強力に推し進める。

今後の少子高齢化という、環境変化にいち早く対応できる小規模事業者を、地域と一体となって育成し、その中で女性の能力を発揮しながら、地元雇用を推進する。

独自の補助金申請をきっかけとして申請支援を通じて各事業者の実状に合わせた課題解決プランを事業所と一体になって作り上げていく。

(1) 国の小規模事業者持続化補助金をツールとして活用し、小規模事業者の発掘、経営分析、需要動向、経営計画の作成指導・助言により、年間10事業所の支援を行う。

また、事業実施時は、経営指導員による事業実施の伴走型支援を行う。

(2) 女性やシニアの活用を含めた各年度10名以上の創業者を創出する。

(3) 地場産業及び製造業の販路拡大に向けた展示会への出展支援により、年間15事業所の支援を行う

(4) 外部有識者による事業成果、評価の見直しの仕組みを新設し、毎年事業の見直しを行う。

2. 経営発達支援事業の内容及び実施期間

(1) 経営発達支援事業の実施期間（平成27年4月1日～平成30年3月31日） 3/3年目

平成27年3月10日計画提出

平成27年7月15日認定

(2) 経営発達支援事業の内容 (平成 29 年度実績)

(認定時の事業計画)

1. 経営発達支援事業の内容

I. 地域の経済動向調査事業【指標③】

地区内の経済動向を経営指導員による巡回や窓口相談、地域小規模事業者や地域金融機関との会議等を開催し、定期的な情報交換を行い、業種や地域による課題を、調査・分析・抽出をする。

また、課題対策セミナーの実施や、特別相談窓口の設置等を行い、地域小規模事業者に向けた対策を必要に応じて実施する。

(平成 29 年度目標と 3 年間の実績)

支援内容	H29 目標	H29 実績	H28 実績	H27 実績
1. 日商 LOBO 調査企業数	4 社	4 社	4 社	4 社
2. 小規模企業振興委員連絡会議による業況の把握及び課題抽出	3 回	3 回	3 回	3 回
3. 塩尻市内金融機関連絡会議による業況の把握、融資斡旋実績の推移及び課題抽出	2 回	1 回	1 回	2 回
4. 塩尻市製造業景気動向調査による業況、売上高、雇用状況、資金繰り調査・分析・課題抽出	2 回	未実施	未実施	2 回

【平成 29 年度実施内容】

日本商工会議所が実施している LOBO 調査を当該地区 4 者に対し毎月調査を行い、全国の調査結果の情報提供も行った。また、小規模企業振興委員連絡会議、金融機関連絡会議にて、課題抽出を行った。

(認定時の事業計画)

II. 経営分析・需要動向調査・事業計画策定支援【指標①, ②, ③】

平成 26 年度より行われている小規模事業者持続化補助金では、持続的な経営に向けた事業計画に基づく、小規模事業者の地道な販路拡大（創意工夫による売り方やデザインの改変等）などの取り組みを支援するため、それに要する経費の一部を補助するものであり、申請時には事業計画の立案が必須である。

塩尻商工会議所では、補助金申請支援を通じ、該当企業の経営環境や事業構造の分析・経営課題の抽出・経営戦略の立案・事業計画作成を当該事業所と一体となって行う。

(平成 29 年度目標と 3 年間の実績)

支援内容	H29 目標	H29 実績	H28 実績	H27 実績
1. 小規模事業者持続的発展支援セミナー受講事業所	20 社	7 者 8 名	23 社 24 者	28 社 33 者
2. 小規模事業者持続化補助金申請時事業計画作成支援数	10 社	4 者申請 1 者採択	19 者申請 3 者採択	21 者申請 9 者採択
3. 金融斡旋時の経営分析による事業計画作成支援数	1 社	10 者	17 者	5 者
4. 小規模事業者経営発達支援資金の推薦	1 社	0 者	0 者	0 者

5. 販路拡大支援事業者への事業計画作成支援数	1 社	0 者	0 者	0 者
-------------------------	-----	-----	-----	-----

【平成 29 年度実施内容】

平成 29 年度に新設された IT 補助金を小規模事業者の持続的発展支援として選んだ。セミナーでは、生産性向上に資する IT ツール（ソフトウェア、サービス等）を導入するための事業費等の経費の一部を補助する“IT 補助金”を活用し経営力を強化する内容であったが、参加者は 8 名と予想より少なかった。実際の参加者から 2 者が応募し、1 者（原遊覧園・原農園）が IT 補助金の採択を受けた。

小規模事業者持続化補助金も 4 年目となり、塩尻地区では事業者からの問い合わせも少く応募者も減り、今年度は 4 者のみであった。

金融斡旋時の事業計画作成は、創業者の創業計画を共に作る支援を行い、支援者 10 者は昨年 17 者に比べれば少ないが、平年並みの結果であった。

経営発達支援資金の推薦及び販路拡大事業者への計画作成は今年も該当者がいなかった。

（認定時の事業計画）

Ⅲ．事業実施支援【指針②】

小規模事業者持続化補助金申請で作成した事業計画に基づき、事業実施時の伴走型の指導・助言を行い、小規模事業者の事業の持続的発展を図る。

また、非採択事業所の事業計画における課題を解決するため、（一財）長野県中小企業診断士協会登録の中小企業診断士、関東信越税理士会長野県松本支部登録の税理士とも連携し、経営課題の分析、市場動向調査を踏まえ、事業計画の再構築を行う。

（平成 29 年度目標と 3 年間の実績）

支援内容	H29 目標	H29 実績	H28 実績	H27 実績
1. 小規模事業者持続化補助金採択事業所及び小規模事業者経営発達支援資金融資後の事業実施への支援社数	10 社	1 者	3 者	9 者
2. 採択事業所の巡回件数	60 回	0 回	1 回	31 回
3. 採択事業所アフターフォロー巡回件数 （昨年採択事業所への巡回）	60 回	10 回	13 回	25 回
4. 小規模事業者持続化補助金非採択者事業所の事業計画再策 定支援	5 社	1 者	2 者	0 者
5. 融資斡旋受付時の事業計画作成を希望する小規模事業者及び、Ⅴ．小規模事業者販路拡大支援の展示会に参加し、事業計画作成を希望する小規模事業者の事業計画作成支援し、事業実施に伴走型支援を行う事業者数	2 社	0 者	0 者	0 者

【平成 29 年度実施内容】

創業者でもある家印が今年度持続化補助金の唯一の採択事業所となったが、自宅兼作業場であり、支援時は全て会議所で行ったため、巡回は 0 件という結果となった。

塩尻商工会議所管内の持続化補助金採択率は、H27 年度 9/21 者(42%)、H28 年度 3/19 者(16%)、H29 年

度の応募者自体が4者であった。難易度が高く採択率が低いといった風評も出始め、持続化補助金を希望する事業所も減少傾向であり、事業計画作成支援も目標10社には達成しなかった。

採択事業所アフターフォロー巡回件数も、既に補助事業が終了し、経営指導員の定期的支援が不要であるとの事業所の判断もあり、8者10巡回にとどまった。(採択事業所 H27 9者+H28 3者=12者)

非採択者事業所の事業計画再策定は、金融支援に伴う1者に対し事業計画書を作成したが、事業計画作成に関しては、小規模事業者から支援機関に要望が求められる事は少ないので、目標も5社少なく設定したが、その設定目標すら届かなかった。

融資斡旋時や展示会等出展企業による事業計画作成希望者は、この3年間いなかった。

(認定時の事業計画)

IV. 創業・第二創業(経営革新)支援【指針②】

塩尻商工会議所は、塩尻市が産業競争力強化法に基づく認定を受け、市内で起業支援をし、特に女性の能力を発揮でき、社会に活用できるように、創業スクールを開催する。

女性の創業者の掘り起しを行うため、(一財)塩尻市振興公社の事業である、子育て中の女性で、スキルアップを目指している勉強会「子春日和」のメンバーやメンバーのネットワークを利用する。

また、地元大手メーカーであるセイコーエプソン(株)等の退職者が、実務経験を積んできた企業OBとして地元企業に助言をする専門家としての起業希望者もターゲットとする。

これら創業スクールを入り口とした、起業に至るまでのステージに応じた個別支援、特に「企業意識」、「起業後の生活・収入の安定化」、「起業に伴うコストや手続きの低減」という三つの課題への対応を(一財)塩尻市振興公社、地域金融機関などの関係機関と連携して実施する。

創業後も3年間は、定期的な巡回や、国のミラサポを利用した中小企業診断士等の専門家と連携した伴走型の支援を実施する。

(平成29年度目標と3年間の実績)

支援内容	H29年度目標	H29年度実績	H28年度実績	H27年度実績
1. 創業スクールの開催	2回	2回	2回	2回
2. 創業者個別支援数	15人	17者	19者	24者
3. 創業後の定期巡回件数	111回	43回	35回	11回

【平成29年度実施内容】

塩尻市では産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定をH27/2月に受け、それに伴い、創業支援者として塩尻商工会議所が創業スクールを開催している。今年も創業スクールを2回開催した。創業スクールの受講者は、H27 35名(内創業者3名), H28 20名(内創業者3名), H29 10名(内創業者2名)と3年間続けているが、受講者は少なくなっている。実際に創業する方は、2-3者であった。

塩尻では、H18年度からH26年度までの9年間、創業者に対する集合セミナーを開催しなかった。その理由は、創業に関する相談も1年を通じて相談があり、創業時期も創業者によりマチマチである為、集合セミナーを開催しても人数が集まらない傾向が見られたからである。平成27年に10年ぶりに再開してみると、開業したての事業主や会社役員等が勉強の為と受講したりした。しかし受講後の創業者は3年間ではそれほど変化はなく、創業検討者が多く受講していたが、創業者の増加には結びついていない。また最近の傾向として10年前と比べ、主婦が夫の配偶者の扶養の範囲内で創業するケースで検討

する方が多かった。創業者は少ないが、創業支援としての集合研修は続けていく予定である。

創業者の個別支援数も目標 15 人に対し、17 者であり、多くの創業者は、開業してから会議所に税務や金融の相談で来所し、個社支援をするケースが多かった。

創業後の定期巡回件数も、H29 21 者 43 回と目標の 111 回には届かなかったが、創業後も金融・税務等の支援を求める声は多い。しかし、事業計画作成支援等の声はなかった。

また、H27 創業後、H29 に廃業を確認した創業者は 2 者であった。

(認定時の事業計画)

V. 小規模事業者販路開拓支援【指針④】

地域における食品加工製造業を支援するため、松本商工会議所等 11 商工団体と共同で、逆商談会を開催する。また、地域機械金属系部品製造業を支援するため、(公財)長野県中小企業振興センターが主催する展示会への出展企業の伴走型支援を(一財)塩尻市振興公社と連携し、引き続き行う。

地場産業である漆器製造業を支援するため、(一財)塩尻・木曽地場産センター及び木曽漆器事業協同組合と連携し、東京ドームにて開催されるテーブルウェアフェスティバルへの企業出展を引き続き行い、木曽漆器認知度の向上を図る。

(平成 29 年度目標と 3 年間の実績)

項 目	H29 目標	H29 実績	H28 実績	H27 実績
1. 加工食品逆商談会 開催数	1 回	1 回	1 回	1 回
1. 加工食品逆商談会 買い手企業数	2 社	0 者	1 者	2 者
1. 加工食品逆商談会 売り手企業数	5 社	5 者	4 者	4 者
2. 長野県中小企業振興センター主催 ながの微細・精密加工技術展出展企業数	4 社	0 者	2 者	2 者
3. テーブルウェアフェスティバル出展企業数	4 社	4 者	4 者	4 者
4. 東京オリンピックへ向けての売込先	1 件	0 件	0 件	0 件

【平成 29 年度実施内容】

松本商工会議所主催で行っている加工食品逆商談会に、売り手企業 5 社の出展、買い手企業の出展は無かった。買い手企業の多くは、スーパー・デパート・ホテル等であり、塩尻市内では関連会社は少なく、例年買い手企業として出展した会社からの H29 は、要望が無かった。

また、長野県振興センター主催の展示会では、企業が独自に出展し、会議所の支援は必要がなかった。

テーブルウェアフェスティバルに出展した 4 社は、昨年同様に継続し支援を行った。

テーブルウェアフェスティバルは、東京ドームで開催され、首都圏の女性をターゲットに、木曽漆器産地による複数企業共同ブースで新商品開発により、新生活様式の提案を行った。

(認定時の事業計画)

2. 地域経済の活性化に資する取り組み

I. 地域経済活性化事業

(1) シリゼミ(まちゼミ)の開催

商店街経営者の高齢化、後継者不在、大型店舗の郊外進出などによる顧客流出により商店街または

市内全域の個店経営は厳しさを増し、空き店舗の増加もにぎわいや地域経済の喪失を増幅させている。

塩尻市の商店街・個店も各々努力はしているが、大きな集客に結び付く結果を打ち出すまでには至っていないのが現状である。

そんな中、消費者の「店舗に入りにくい」という問題を解消するため、お店を身近に感じ、その存在やお店の特徴を知ってもらうことで、お客様とのコミュニケーションを図りそこから信頼関係を築く中で「お店のファン」を増やし利用してもらう事を目的とする塩尻版まちゼミ「シリゼミ」を平成24年度より開催している。継続して実施することにより足を運んでもらえる環境づくりを整備することができ、街の賑わいと地域経済の活性化を少しでも高めることとなる。

(平成 29 年度目標と 3 年間の実績)

支援内容	H29 目標	H29 実績	H28 実績	H27 実績
シリゼミ開催店舗	30 店舗	28 店舗 29 講座(5 月) 29 店舗 31 講座(11 月)	29 店舗 30 講座(5 月) 31 店舗 32 講座(11 月)	30 店舗 31 講座
シリゼミ受講者人数	300 名	延べ 186 名(5 月) 延べ 258 名(11 月)	延べ 247 名(5 月) 延べ 272 名(11 月)	延べ 251 名

【平成 29 年度実施内容】

商店街のお店の店主・従業員が講師となり、プロならではの専門的な技術やコツを紹介することにより、自店の専門性や特色をアピールできると同時に、お客様からの声を直接聞けるコミュニケーションツールとし、顧客との信頼関係を構築し、また商店、事業所のファンをつくる賑わい創出事業として開催した。H29/5 の受講者人数が少ないのは、H28 や H29/11 に比べ、講座の開催回数が少なかったのが理由であり、H29/11 には開催回数を元に戻した経緯がある。

(認定時の事業計画)

3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

小規模事業者の経営や技術の改善、向上を促進するため、経営指導員を設置し、小規模事業者の経営相談、経営指導を行い、金融、税務、労働、取引、経理、その他あらゆる分野にわたってきめ細かく相談に応じ、指導支援を行う。

通常の相談に対し、高度かつ専門的な問題、業種別の問題、あるいは広域的な問題等に対応するため、他の支援機関との情報交換を行い、他の支援機関と連携による小規模事業者支援や、小規模事業者からの要望要請に応じ、他の支援機関の専門相談員による専門的な個別相談を行う。

一方、経営指導員が小規模事業者の相談に応じるために、新たな経営管理手法や施策情報等を習得する必要がある。このため研修会等を通じ、経営指導員の資質向上を図っていく。

I. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

【平成 29 年度実施内容】

松本・塩尻・大町の 3 商工会議所のエリアを広域で活動する 2 名の広域経営指導員が定期的に来所いただき、情報交換を行っており、目標に掲げた定期的情報交換は広域経営指導員により達成ができた。

経営安定特別相談を 3 商工会議所連携で 2 回開催し、一日公庫も 2 回 7 者の相談を行い、塩尻内の支援機関連絡会は年間 12 回開催し情報交換を行った。

中信ブロック経営指導員研究会、ながの産業支援ネット推進連絡会議等による、情報交換等を行った。
但し信州ビジネスプラットホーム推進連絡会議は、日程が合わず出席を見合わせた。

Ⅱ. 経営指導員等の資質向上等に関すること

【平成 29 年度実施内容】

経営指導員の 20 時間研修に 5 名の経営指導員が履修、中小機構が主催する経営指導員向け小規模事業者支援研修-経営発達支援事業(12h)研修及び IT スキル向上等研修(6h)に 1 名が研修を履修した。

3 企業 3 回の専門家派遣事業を実施し、専門家に帯同し知識を習得した。